

Musée forward Buffet



7

**Buffet-Kun e-book vol.7**

ベルナール・ビュフェをもって好きななる月刊紙!!

# アーヴィング・カーン

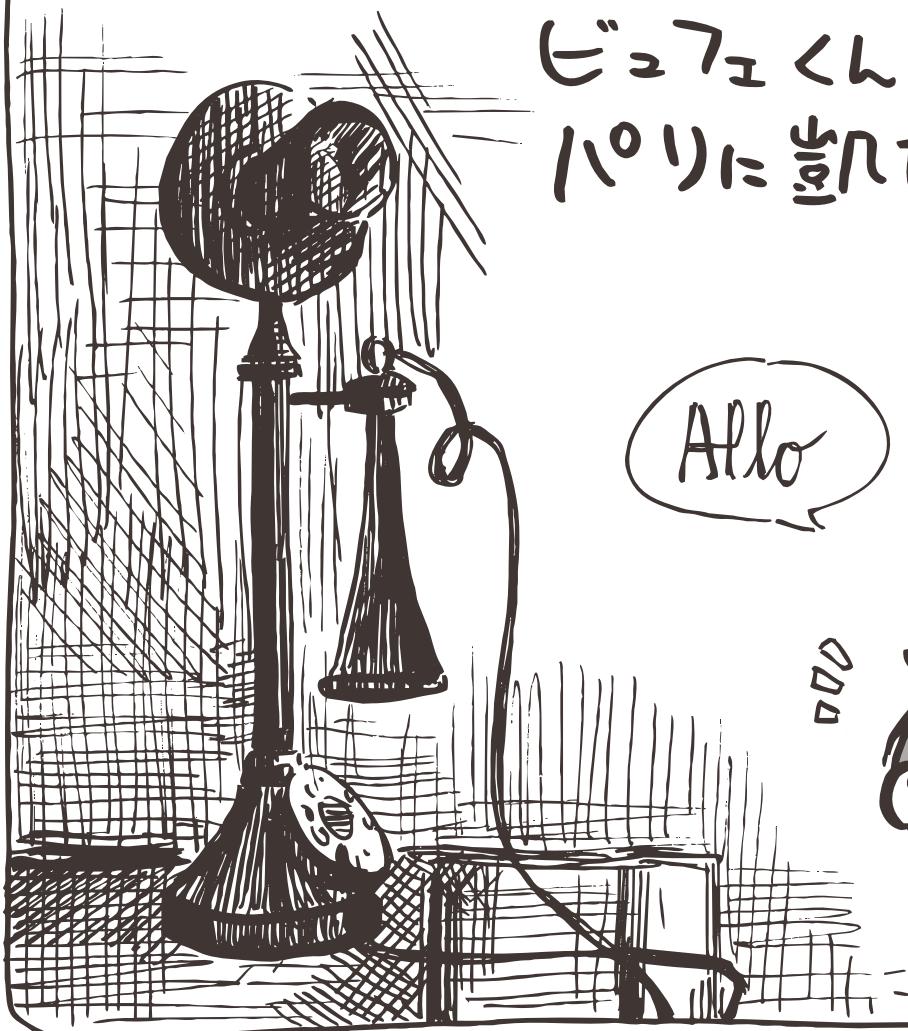
第7回

1955-  
1958

ビュフェくん

ハリに凱旋

西大介



Allo

お  
コトーさん  
だ



うう?  
うう?

4年間の充実は、南仏暮らしまで一区切り。

ベルナール・ビュフェはハリへ戻ります。

1955年ハリ近郊ドーモンに転居。

同年、美術誌「コナ・サンス・テ・ガール(芸術の知識)」

による「戦後画家10傑」の第1位に選出。

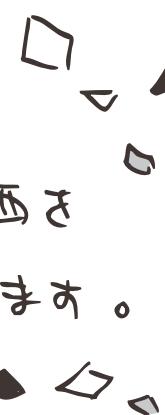
「オムモワソ」(時代の証人画家)と一緒にいた  
マンドレ・ミニーともおなじで。

作品「サーカス：トロンボーンと（ピエロ）」(1955)より。↓

凱旋式といえる  
良いタイミングで、  
ビュフェはさうに評価を  
貰います。

同年26点からなる  
連作「サーカス」を  
制作。

これは  
エトワール  
凱旋門



「サーカス」シリーズは  
翌1956年に

発表され  
ますが…



作品一点の販売価格は当時のお金で  
80～150万フラン。 販賣單位に **1億** 単位であり、

この人気と評価の高さがうかがえます。

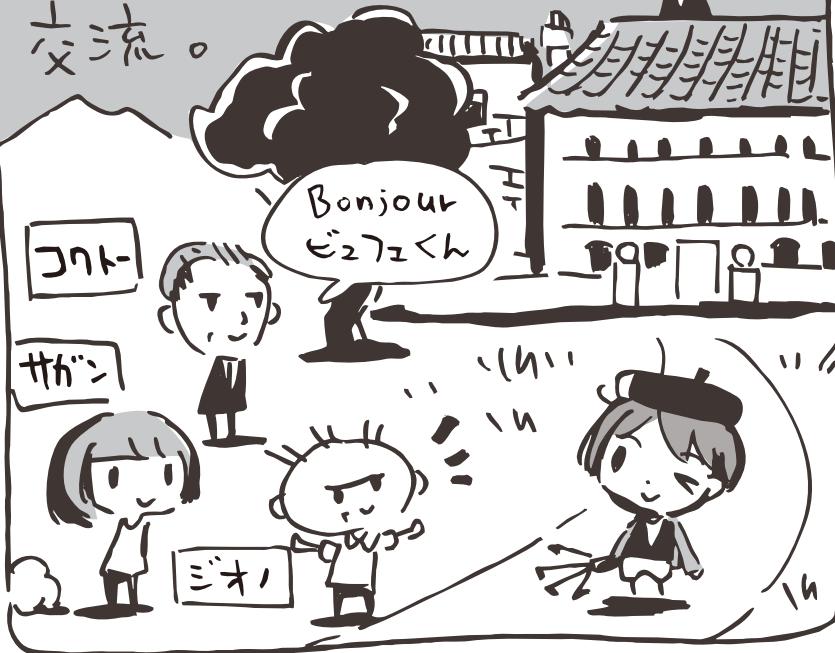
同年、再びハリウッドに、直後にフランスやカナダへ  
サン＝グリゴワール山のふもとラルク城へ引越し。

フランスの羊小屋  
今度はお城

一国一城の  
(あるいは)  
王だい！

銀行でお城を買っちゃいました… ビュフェく28歳。

ラルック城では、  
ジャン・コクトー、ジャン・ジオ、  
フランソワーズ・サガンら、  
詩人、文学者らと  
交流。



言葉の芸術家たちとの関わりは、  
金剛版画 技法  
「ドライポーポイント」  
による  
「挿絵本」  
形を得ます。

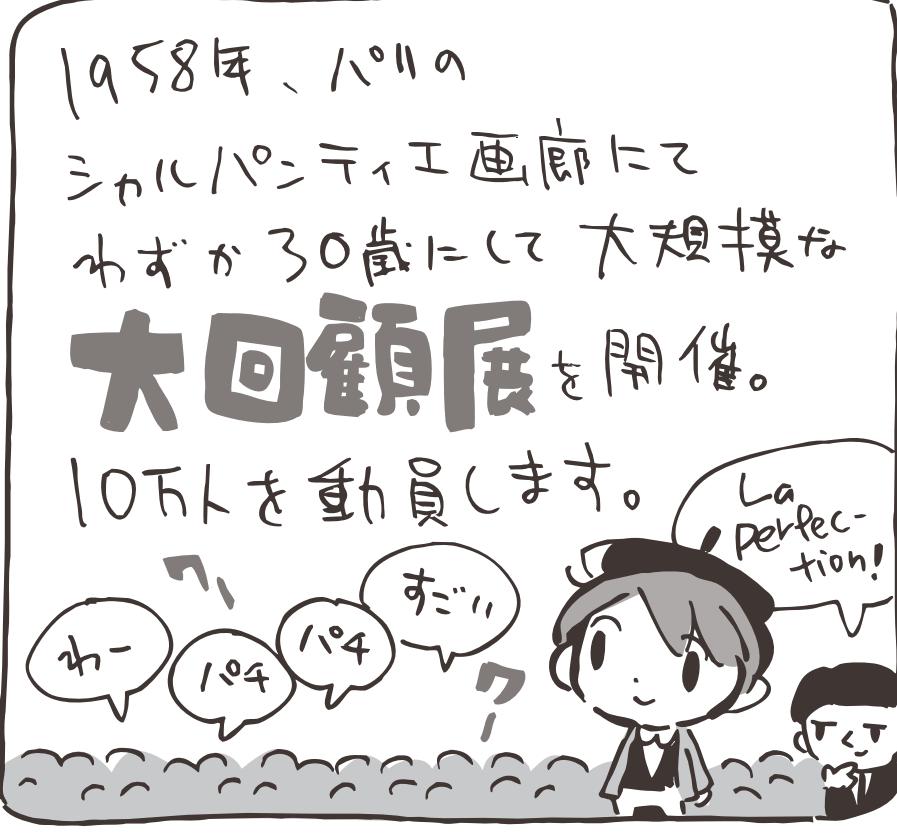


ビュフェの理解者であるコクトーとの共作本  
『青』では、22点のドライポーポイントを制作。(1957年)  
鋭く荒いビュフェの描線と文字は、  
銅版を削るドライポーポイントに似ています。

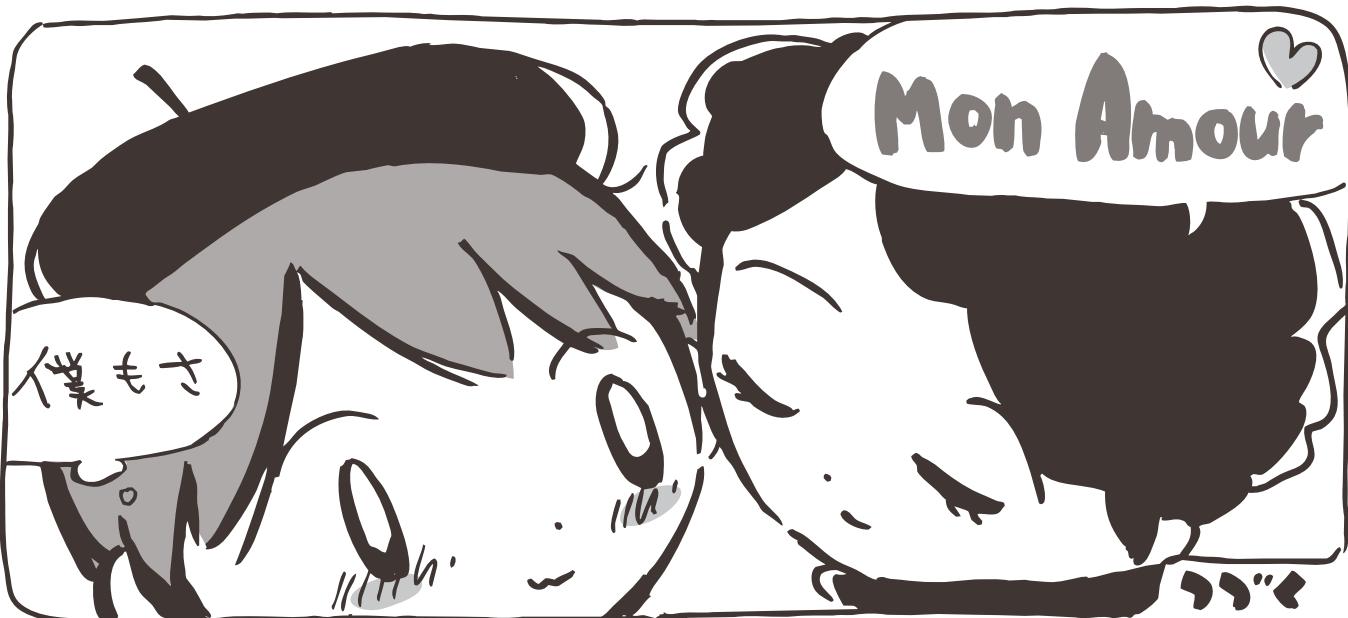
ああ！ もう畢竟にはたよらず、色彩めきて  
彼が『人間の声』の独自をみごとに  
描いてくれた。あの修道女の服の  
ような驚くべき書体さつがて。



挿絵本『青』について、ジャン・コクトー曰く。



19歳の  
初個展から  
約11年……。  
現代の  
異端画家として  
30歳の  
ビュフェは  
頂点に達り  
つめました。



# ピエール・ベルナール・ビュフェ 生誕

1948

ベルナール・ビュフェは、最初期のキャリアにおいて  
多大な影響を与えたピエール・ベルジエ。

実はビュフェよりも2歳若く、1930年生まれ。

作家・詩人・ジャーナリストを志したベルジエは、

18歳の時に単身パリへ。

書店員をしながら、レイ・マラゴン、  
ジャン=ポール・サリエル、アンドレ・ブルトン、  
ジャン・コクトーなど交遊を深めます。



↓ 1950

ビュフェとの出会いは1950年。

コクトー や ジャン・ジオ / を紹介し、以降8年間

公私にわたるサポートにてビュフェを支え、

作品を売り込み、管理もします。(実質プロデューサー)



↓ 1958

1958年、ビュフェがアドルフと結婚(3年)、(1928 - 1999)

ベルジエは、イヴ・サンローランと出会います。

前年1957年、ブランド「Dior」の創設者である

クリスチャン・ディオールの死後、主任デザイナーとして  
大抜擢されたのが、まだ21歳のサンローラン。

かつてのビュフェと同様に若く、惜めぬ

気鋭の芸術家(ファッション・デザイナー)でした。



Bernard Buffet

Musée Bernard



30

しかし、1960年にサンローランはフランス軍に徴兵されます。

軍隊生活で「ハサウェイ、入院。

結果 ディオールからも去ることに……。



ここで手を差し伸べたのがベルジエでした。

資金を調達し、自身は経営を担当し、

サンローランのブランド「Yves Saint-Laurent」を設立。

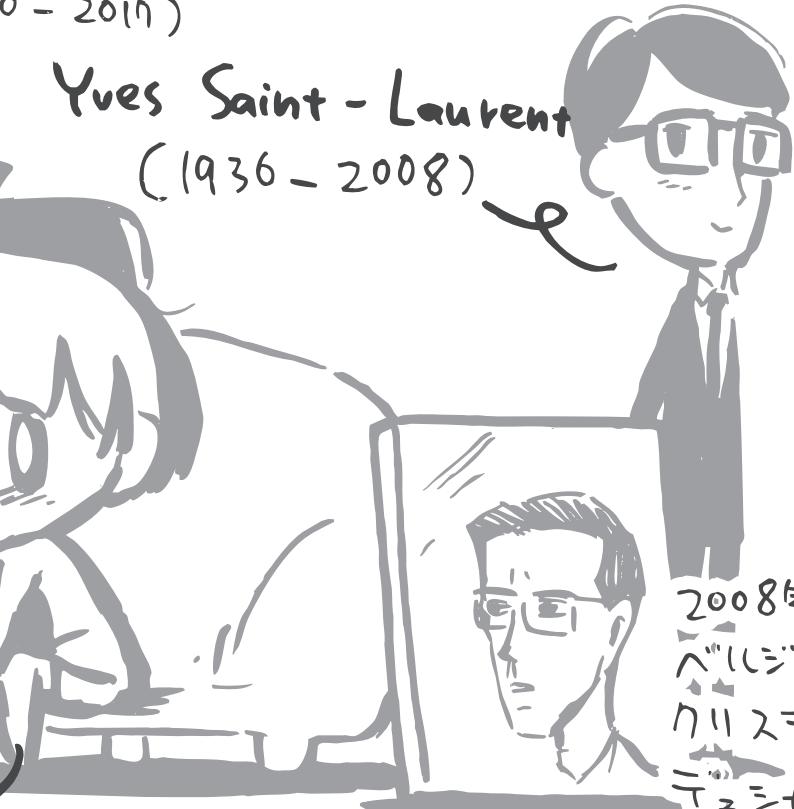
世界的有名ブランドへと育てます。↓



Berger

(1900 - 2011)

Yves Saint-Laurent  
(1936 - 2008)



ベルジエとサンローランは  
公私にわたるパートナーであり、  
ニーベルもビュフェに入股しています。

また、ビュフェは二人ともその  
肖像画を描いています。  
三者はお互いに親交・面識があり、  
単にベルジエがビュフェから  
サンローランに乗り換えた…といふ  
話ではなさそうです。↓

2008

2008年、サンローランが他界。2011年には  
ベルジエと二つで集めた美術品が、  
クリスティーズのオークションに出品され、  
デュシャン、ピカソなどと一緒にコレクションが  
人々を驚かせました。↓

「サンローランの記憶を形にする」ことを  
決意したベルジエは

美術館開館に向って奔走します。

ベルジエは2010年9月8日に他界。享年86歳。

同年10月にはパリセマラン(モロッコ)に

「イヴ・サンローラン美術館」が開館しました。↓

2011



2011年の美術館には、ビュフェが描いた  
サンローランの肖像画が飾られています。